

明治期以降の東北地方におけるプロテスタント宣教史

関連キーワード: プロテスタント宣教史、東北文化、地域史

研究内容

19世紀半ば、幕末以降、日本にはアメリカを中心としてキリスト教宣教師が大挙として到来した。彼らの活動により日本の各地にキリスト教会やキリスト教学校が設立された。それは一つの宗教の拡大というだけでなく、文化的にも日本に大きな影響を与えることになった。

これまで19世紀アメリカのキリスト教史を研究テーマとしてきたが、その中でも、特に東北学院大学、宮城学院女子大学や、東北の多くのキリスト教会の設立に大きく貢献した合衆国改革派教会の歴史について、特に専門的に研究してきた。東北学院に着任して以降は、同校の三校祖とされるホーイやシュネーダー、そして「会津の使徒」と呼ばれたクリストファー・ノッスなど、東北で宣教活動に従事した宣教師たち、さらに彼らの薫陶を受けた東北学院神学部卒業の日本人牧師たちの足跡や思想についても研究を進めてきた。

その研究成果を通して、彼らが教会を活動の中心としつつも、同時に東北地域の文化形成にも一定の貢献してきたことが明らかになった。それは単にキリスト教という一宗教の歴史というだけでなく、明治以降の東北における近代化、西洋文化の受容を示す重要な一断片であったと考える。また近年注目されている、ローカル・ヒストリー（東北のキリスト教史）とグローバル・ヒストリー（19世紀アメリカのキリスト教史）とを結びつけることにもなると考える。

研究者プロフィール

- ・文学部総合人文学科 講師 藤野雄大
- ・専門分野 キリスト教史
- ・研究分野 アメリカ・キリスト教史
- ・所属学会 日本基督学会、キリスト教史学会

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

- ・自校史研究の進展（東北学院卒業生の事績研究）
- ・東北で活動するキリスト教（特にプロテスタント）教会との連携
- ・ツーリズムや地域振興の一環として、東北地方における明治期以降のキリスト教会関連の歴史的遺産の考証、整備など。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122